

CUCM での電話機ファームウェア ファイルのインストール失敗のトラブルシューティング

目次

[概要](#)

[問題](#)

[解決策](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco Unified Communications Manager (CUCM) サーバでの電話ファームウェア ファイルのインストール失敗のトラブルシューティング方法について説明します。

問題

注: 電話ファームウェア ファイルは Rivest-Shamir-Adleman Version 3 (RSAv3) 暗号システム キーで署名されています。通常、この署名付き電話ファームウェア ファイルの名前には k3 が含まれています。

CUCM サーバで k3.cop.sgn (署名付きファイル) 拡張子がついた電話ファームウェア ファイルをインストールしようとする、ファイルのインストールが失敗します。CUCM では、このファイルが無効であることを示す次のような出力が作成されます。

解決策

次のサンプル ファームウェア ファイル (または k3 値を含むファイル) を CUCM サーババージョン 8.6.X または 9.X にインストールしようとする、前の項で説明した問題が発生します。

- cmterm-69xxSCCP.9-4-1-3ES10.k3.cop.sgn
- cmterm-88xx-sip.10-2-2ES-10.k3.cop.sgn

注: これらのファイルは、Cisco Technical Assistance Center (TAC) のラボでテストされています。

k3 キーにより署名されているこれらのファームウェア ファイルを CUCM でサポートするには、CUCM サーバに ciscocm.version3-keys.cop.sgn ファイルがすでにインストールされている必要があります。CUCM サーバにこのファイルがインストールされていない場合、Cisco [Download Software](#) ページで最新の RSAv3 キー Cisco Options Package (COP) ファイルを入手してください。

ラボのテストに基づき、次に示す CUCM バージョンではこの RSAv3 キー COP ファイルは不要です。

- [Cisco Bug ID CSCua88701](#) の修正が含まれているすべての CUCM バージョン
- CUCM バージョン 10.0
- CUCM バージョン 10.5.X

注: CUCM バージョン 10.5.X では、アップグレード中にこのファイルが追加されたため、このファイルがすでに含まれています。

ヒント： 詳細については『[Cisco Unified Communications Manager and IM and Presence Service、リリース 10.5\(1\) リリース ノート](#)』の「アップグレード前の COP ファイル」を参照してください。

ciscocm.version3-keys.cop.sgn ファイルを入手して CUCM サーバへのインストールが正常に完了すると、.k3.cop.sgn 電話ファームウェア ファイルのインストールが正常に実行されます。